

---

## 教養講座：言外の意味（日本語語用論入門）

---

### 【講座内容】

本講座では、語用論の基本的な概念を学ぶ。人は相手とコミュニケーションを取る時に発話の意図や目的に応じて聞き手との関係や場面などを考慮に入れつつ、ことばや表現を使い分ける。それらのメカニズムについて実例をもとに紹介する。ことばのやり取りにおいて話し手の意図と聞き手の解釈に生じるずれについても言及する。また、言語によって表現の使い分けや事態の捉え方が異なることがあることから、日本語と英語や中国語など他言語との比較対照も行う。さらに、発話内容そのものではなく、内容をどのような形式で伝えるかという表現の選択や順序に見られるポライトネス（配慮や配慮表現）にも触れ、日本語と他の言語との相違についても紹介する。最終日は受講生に分析の試みを簡単に発表していただき、ディスカッションを行い、まとめにつなげる。

### 【重点を置く学習内容】

話し手の発話の意図や聞き手の解釈について分析すること

### 【受講対象者】

本講座はオープンアカデミーの日本語クラス上級レベル以上の日本語学習者の方が対象です。

### 【テキスト】

講師作成の教材・レジュメ等を電子配布

### 【各回の内容（全6回）】

- 1回：語用論とは何か、語用論研究の範疇や目的、文法研究など近隣分野との違い
- 2回：発話の意図、機能 - 依頼、指示などの行為要求や謝罪・感謝などの場面における言語表現
- 3回：談話分析
- 4回：対照語用論（日本語と英語や中国語等他言語との比較対照）
- 5回：ポライトネス、対人配慮
- 6回：受講生による簡単な発表、ディスカッションとまとめ